



1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立津山工業高等学校		
実践者等	橋本 憲人	実践日	令和3年6月7日・11日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	地理歴史科・世界史A 第一時：問いづくり、第二時：問いの共有・評価・再構築		
対象生徒（学年等）	2年生・機械科（40名）		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	・「西アジア・北アフリカの文明」		
使用したアプリ等	Classroom、Forms、Padlet		
実践の概要（ねらい等）	生徒の問いを「Padlet」を利用して、共有・評価・再構築し、洗練するなかで問う力を育成する。		
実践の内容			
<p>(1) 問いづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書を読み、5W1Hを原則として問い（疑問）をプリントに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・どのように問いを作ればよいかなどの説明をする。 ○自分が最も面白いと思う問い、「ベストオブ問い」をFormsで回答する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ClassroomでFormsのリンクを配信するとともに、スクリーンにQRコードを映す。 ・問いを考えるのが難しい生徒には、他者の回答を参考にしてもよいことを伝える。 ・余力のある生徒には、その見開きで中心となる問い、単元で中心となる問いも考えるように指示を出す。 			
<p>(2) フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で出てきた問いを紹介し、表現や視点についての指導を行う。 			
<p>(3) 問いを「共有」・「評価」する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Padletを使い、賛同できる、面白いと思う他者の問いに「いいね」をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・気になった問いがあれば、どこが良かったか、その問いを参考にどのような問いを考えついたかなどを入力するよう指示する。 			
<p>(4) 問いを「再構築」する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えた「問い」に対するフィードバックを得て、再度「ベストオブ問い」を考え、Padletに入力する。 ○他者の問いを5段階（☆1～5）で評価し、気になった問いにはコメントをする。 ○評価やコメントを受けて、「真のベストオブ問い」をFormsで回答する。 			
参考となるHP等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習オンラインツール「Padlet」 <https://ja.padlet.com/> 		